

くらサポ³⁰th ニュース No. 98

医療生協さいたま

発行：地域福祉相談支援センター



2022/12/1

事例紹介



ケガをしてしまった90代の方の食事作りのサポートをしました。当初は週3回のサポートでしたが、徐々に体調が改善され週2回、週1回と減り、現在は自分で作れるようになりました。利用者さんは一生懸命リハビリを頑張り、お元気になられたそうです。

サポーターさんは食事作りの他に、話し相手にもなっていました。利用者さんから「ありがたかった」と喜んで頂きました。また、サポーターさんは「自立のお手伝いが出来て嬉しい。お手伝い出来ることがあれば、今後も支援したい」と振り返っていました。
(三芳町)

テレビが届くことになり、その周りを片づける予定だった70代の利用者さん。ところが転倒してケガをしてしまい自分で出来なくなってしまったそうです。

以前も別件で利用したことがあり、同じサポーターさんに声をかけたところ、快く引き受けてくれました。
(上尾市)



独居の80代の方から、「市の訪問理美容サービス事業を利用して調髪をする間、見守りをして欲しい」という依頼がありました。

理美容サービス事業者から、利用時に付き添いを求められた為、くらサポを利用することになりました。
(川越市)



くらしサポーター募集中

『組合さんのちょっとした困りごと』をお手伝いするボランティア活動です。どなたでもサポーターになれます。『ちょっとしたお手伝いなら出来る』という方、一緒にボランティア活動に参加しませんか。お問い合わせは下記事務局まで。

くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692